

平成 27 年度なんたん子育てフォーラム

(南丹地区「京のまなび教室」指導者等研修会)

～みんなで育もう 家庭・地域のたからである子どもたちを～
学び合い、育ち合う、人と人とのつながりを深めよう

日時：平成 27 年 9 月 6 日 (日) 午後 1 時から 場所：明治国際医療大学

南丹地域の子どもたちを見守り、温かく育むためのネットワークづくりを目指して開催したフォーラムに、約 250 名の参加者がありました。参加者の方からいただいた感想を紹介します。

オープニング

京都丹波「脱☆劇場型観光ツアー」

「ありのままがおもてなし あったかいんだからあ♪」

～日本観光大使育成計画展開中～

京都府立須知高等学校 生徒代表



- ・地元にある高校の生徒達が活躍していることがわかり、大変嬉しく思いました。
- ・京都丹波の自然や文化を当たり前のように見過ごしてしまうのではなく、その良さを見直してアピールしていく姿に励みを得ました。
- ・高校生が地域について学び、誇りに思ってくれていることが伝わりました。

開会行事

全体会

大会宣言・子育て支援協議会委員紹介

講演「自己肯定感を高める前向き子育て」

親と子のこころのエンパワメント研究所

代表 馬見塚 珠生 様



- ・子どもの学びの 85%は視覚からという点に驚きでした。プロセスを褒めることの大切さを実感しました。
- ・一人の人間として子どもに接することが、子どもが大人になった時の糧になることを学びました。
- ・子どもに対してちょっと考え方や関わり方を工夫すれば、自分自身のストレスを解消することもできると考えるきっかけになったことが、とても良かったです。

- ・「過程を褒められた子どもは、チャレンジすることを恐れない」という言葉が印象的でした。
- ・母親は年中無休。母親としての自分を大切にしようと思います。

A分科会

前向き子育て～実践編～ 馬見塚 珠生 様

- ・実践の中でやっていける自信が少し増えました。心が少し軽くなりました。
- ・今、子育てする中で問題だったので、よかったです。
- ・良い関係が大切。安心して過ごすところが大切なこと、何にも通用すると思う。



B分科会

おとなも子どもも楽しむ音楽とリズム 京都ピアノとうたの音楽ひろば 様

- ・心から笑い声を出し、体いっぱい表現することの心地よさをみんなで体験できた素晴らしい分科会でした。
- ・久しぶりに思いっきり歌ったりリズムをとったり、本当に楽しいひとときを過ごさせていただきました。



C分科会

親のねがい・子の思い～思春期の本音～ 福幸塾 様



- ・家に帰って、親視線からでなく、子どもの意見をじっくり聞いてみようと思いました。
- ・感性豊かで柔らかい発想を直接聞くことができ、大変良かったです。
- ・相手を否定しない強さを持つことが大切。

D分科会

おはなし大好き！～子どもに豊かな心を～ 人形劇団くそらまめ 様



- ・絵本は親子のスキンシップの場であること、読み聞かせの大切さを改めて考える機会となりました。
- ・たくさんの方に絵本についての思いを聞かせて頂き、貴重な時間になりました。
- ・ワクワクした子どもの顔を見て、嬉しかったです。

E分科会

楽しく体を動かすことの大切さ 明治国際医療大学 池本敬博 様



- ・子どもたちに楽しく遊びながらできる運動、最高でした。人生、運動が大切！と、実感させられました。
- ・小さい子どもにもやってみたいなーと、思いました。
- ・これからの活動にとっても生かせるものでした。もっともっとやっていたかったです。
- ・大変良い汗をかき、よかった。地域等、社会教育に役立てたい。

平成 27 年度南丹地区子育て支援協議会委員

南丹教育局長

学識経験者

京丹波町子育てサポーター

南丹保健所保健室(健康支援担当)

南丹保健所福祉室(児童・障害担当)

亀岡市小学校教頭会会長

南丹公立幼稚園長会会長

南丹・船井地域学校保健会養護教員部会部長

南丹地区社会教育委員連絡協議会会長 宝積玄承

西村 文則

塚本 綾佳子

澤井 安子

上田 直美

西原 裕和

安藤 茂樹

出野 佐知

川勝 加代子

亀岡市立図書館館長

川辺おやじの会会長

NPO 法人亀岡子育てネットワーク理事長

NPO 法人グローアップ理事長

京丹波町ファミリー・サポート・センターアドバイザー

亀岡市社会教育委員

南丹市社会教育委員

京丹波町社会教育委員

内藤 千鶴

平野 清久

田中美賀子

秋田 裕子

新 むつみ

美馬 喜代子

中野 愛子

白樫 貢